

第1回きずなづくりトーク（向山小学校区） 概要記録

平成24年7月6日
錦田公民館

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	町内行事への参加の呼びかけを放送等で行っている。ここ数年で、総会、防災訓練、運動会などの行事への参加者が増えたと住民が言ってくれる。ガーデンシティへの取り組みとして、それまで使われていなかった花壇を町民の有志と協働で作直した。訪れた他町の人にきれいだとほめてもらった。
自治会長	町内会報を毎月発行している。これがあることで町民同士がつながりを感じられると思う。昨年から文化際を行っている。集会所を使って作品を出展してもらおう。河川公園にホタルがたくさん飛んでいる。あんな山の中にホタルがいることは驚きなので、みんなが見学に来れる公園にしていきたい。
自治会長	納涼祭は夏の大きなイベントで、多くの住民が集まる1番のふれあいの機会。伝統がない住宅地なりのまちづくりをしたい。組ごとに補助をしており、組でもきずなづくりをしてほしい。平成18年から花の公園を作っているが、後継者が不足している。老人会では輪投げを子ども会と一緒にやっている。
自治会長	地域力についてはイベント以外でも感じることもある。ゴミ置き場を設置してほしいと組長から要望があったとき、設置のために関係する様々な町民と話し合いを行って、つながりを感じた。ゴミ捨て場について市へ要望を出したが、それを受け取ったままで止まってしまう。一度、何が原因で駄目なのかを自治会に言ってくれば、地域で話し合っ解決して再び要望するのだが。
自治会長	夏梅木町内会の役員は2年交代で行うので、短い任期の中で燃え尽きようかとがんばっている。団地ができて40年ほどになり、水道が老朽化しているので、地震があったときに壊れてしまうのでは。今回の市民会議の案内通知はすべて個人に手渡しした。高齢者問題については、組長と民生委員が協力して動いているので、孤独死などの問題はないと思う。近所の方が月2回の回覧を渡すときに声をかけてくれている。
自治会長	2つの神社で行う祭りが町内の大きなイベントである。子ども会と消防団OBでもちつきなどを行っている。今年は12月に防災意識を高めるキャンペーンを行う予定。一人暮らしの高齢者が多いが、民生委員がしっかり管理してくれているので自治会でも把握できている。高齢者を公民館に集めて懇談会を行った。老人会がないので、新しく作るうとする取り組みもある。会長任期が1年なので、問題にいつ手をつけるか悩んでしまう。
民生委員	小さい集落なので、家族で住んでいる方が多い。一人暮らしの高齢者は、老人会に参加したり、近所の人と話したりして努力している人が多いと思う。
老人会	老人会の役員になってくれる人がいない。コミュニケーションができない会員が多かったが、4年間会長として指導したことで、多くの会員が友達や話相手ができ、皆喜んでくれている。月1回老人福祉センターに行き、食事やカラオケをして楽しんでいる。
民生委員	三年前に孤独死があった。その時も近所の人や民生委員で見守っていたが、それでも起きてしまった。一人暮らしの高齢者は外へ出ないので近所の方を知らない。対策として、組の一人暮らし高齢者を集めてお茶会を行った。5人ほどしか集まらなかったが好評だったので、これからは町内行事として自治会と協力して行っていきたい。
民生委員	夏目木は旧部落が多い。今年の4月に一人暮らしの高齢者宅を回ったが、女性が多かった。団地は坂が多いので、足が悪い人はバス停まで歩いて行けない。新しいバス停ができたらいいなと思う。

発言者	発言要旨
児童委員	児童委員は直接訪問ができないので、地域の子どもを見守ることしかできない。登下校時に子ども達にあいさつをしている。あいさつ運動に力を入れていきたい。
中郷中PTA	向山小学校では、朝、先生方が校門の前に立ち、あいさつをしてくれている。地域の方が子どもにあいさつしてくれている光景をよく見る。錦が丘の入り口、向山小学校の入り口にスクールガードが旗を持って立ってくれている。
中郷中PTA	子ども達が廃品回収を一生懸命手伝ってくれる。ミックス古紙については難しいのでわからない。
環境美化推進委員	ごみの集積場をパトロールしているが、問題は起きていない。市から預かっている花壇で花づくりを行っている。家の前が通学路だが、登校時にあいさつをしてくれる子どもが増えた。
小学校長	向山小学校区は、地域の方がいろいろ協力してくれる地域だと感じる。学校の合言葉を「笑顔であいさつ」にして力を入れているので、子ども達が段々あいさつができるようになってきた。子ども達の安全面について、スクールガードをはじめとした地域の方々に協力してもらい助かっている。向山小は、歩いて登校する生徒が少ないので、体力づくりのために歩くように呼びかけている。
スポーツ推進委員	トリム教室が盛ん。皆、年齢関係なく、いろいろなスポーツをしている。生涯スポーツを見つけてもらえるように活動している。校区の役員にも、スマートウェルネスに関する我々の活動を知ってもらうために、教室に参加してもらっている。スポーツ行事参加者の高齢化が進んでいる。子どもの参加者が減ってしまった。運動会などでは年齢に合わせた種目を考えたりして、皆が参加できるものにしていきたい。昨年は学芸員の案内で向山地区でウォーキングを行ったので、今年も開催したい。
保健委員	役員になったばかりなので、これといって活動はしていない
保健委員	保健委員は何をやっているかわかりにくいと思う。地域の健康づくり運動を展開していくためのリーダーが保健委員。健康相談をしたり、防災訓練でレクチャーを行っている。
消防団長	防災訓練に参加している。団員不足が大きな課題。10～15年団員をやっている人が多く、若手が入ってこない。
消防団長	防災訓練は、震災後皆が力を入れるようになった。訓練を通じて顔見知りができるのもいいこと。自治会の方々も防災訓練のやり方について検討し、工夫してくれている。16分団も団員が減っている。団員をどのように確保すべきか、自治会にも協力してもらって検討していく。
女性懇話会	古墳公園や東駿河湾環状道路の完成したことで、人や車の流れが変わっている。公園にはいろんな人が来るようになり、不審者が現れないか心配なので、見守る人が必要。女性学級は、60～70代が多い。女性だけの集まりなので、いろいろな体験ができるし、女性が組織を動かす力を身につけられる。
老人会	子どもが自分から大人にあいさつするのは非常にいいこと。大人の方があいさつされても知らん振りしているので、気をつけなければならない。東大場老人会は135名ほど会員がいる。「孤独死に3年も気付けない」という事例が全国的にはある。そうなる人はやっぱり人付き合いがほとんどない。高齢になると、地域が社会との唯一のつながりとなるので、地域に入らない人に対して声をかけ続けることが大事。あいさつをすることがきずな作りの第一歩。